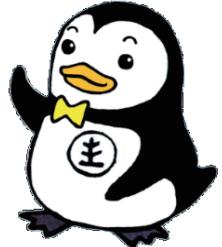


【更生保護とは】

地方更生保護委員会及び保護観察所は「更生保護官署」と呼ばれています。更生保護官署では、社会内で生活する犯罪をした人や非行をした少年に対して、彼らが再び犯罪等を行うことを防止するため、再犯の防止に必要な指導監督や、社会生活を送る上での様々な支援を行っています。

罪を犯して刑務所等に収容された人は、やがて社会に戻ってきます。そうした人に再び犯罪をさせないためには、社会で自立し生活を送ってもらう必要があります。刑事司法の終点で、犯罪をした人の社会復帰を促すことにより、新たな犯罪が生まれることを防止し、安全・安心な社会を守ることが更生保護官署に課せられた使命です。



Voice

～先輩からのメッセージ～

この仕事のやりがいは何ですか？



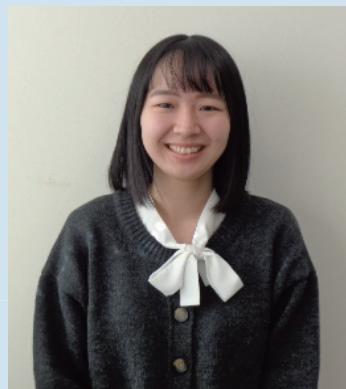
私は現在、東北地方更生保護委員会で保護観察官として勤務し、受刑者と面接をしたり、受刑者が帰ることを希望している地域の保護観察所等と連絡を取ったりして、委員が仮釈放を許すかどうかの審理等を行うための調査や調整を行っています。一昨年までは保護観察所で、地域で生活している保護観察対象者を担当していました。保護観察官の仕事の大きなウェイトを占めるのが「面接」ですが、面接を繰り返すことで、保護観察対象者やその家族等から、信頼を得ることができ、伝えたいことが伝わるようになり、一緒に今後のことを考えられるようになったときなどは、「この仕事を選んでよかったな」と思います。保護観察官は、人の可能性を信じ、さまざまな人の出会いから学び、自身を向上させていくける仕事だと思います。ぜひ一度、説明会等に足を運んでみてください！

国家Ⅱ種（現：一般職）行政区分採用



なぜ、この仕事を選んだのですか？

私は大学で更生保護について学ぶまで、更生保護の分野に興味はおろか、存在すら知りませんでした。そんな私に影響を与えたのが、実習で非行につながりそうな行動が見られる児童と関わったことでした。私はどうすれば、本人の気持ちに寄り添いながら支援できるのかを考えましたが、答えはでないまま実習は終わりました。あの児童に何をしてあげられるのだろうかと思案する中で、罪を犯した人を支える保護観察官という職種があること、犯罪は自分の身近にあること等を学びました。そこから保護観察官になりたいという気持ちが固まり、この世界に飛び込みました。現在は保護司さんの活動や各観察所で発生した費用等を支払う会計事務をしています。この業務をしていると、更生保護は多くの方の協力によって成立しているのだと強く感じます。今は縁の下の力持ちとして会計業務を遂行しつつ、私の目指す保護観察官になるため、必要な知識の習得に励む毎日です。



法務省専門職（保護観察官区分）採用

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

東北地方更生保護委員会総務課

〒980-0812 仙台市青葉区片平1-3-1 TEL 022-221-3536

採用情報Web
サイト

